

## 「東山梨教育研究第48号」刊行にあたって

甲州市教育委員会委員長 天野昌明

東山梨地域の学校教育振興のため設立された東山梨教育協議会により発刊された教育研究誌が、幾多の変遷を経てこのたび第48号刊行に至ったことは誠に喜ばしく、教育に関わる諸先生方の御労苦に対し心から感謝申し上げます。

平成の大合併による新山梨市、甲州市の誕生から早くも5年が経過しました。合併に伴う行政・地教委対応における様々な相違に苦慮している面もあるかと思いますが、旧市町村教委からの引継ぎ事項については徐々に達成できるよう努力してまいります。

今年度は新型インフルエンザ流行への対応という点で、初めての目に見えない危機対応に神経をすりへらした年でありましたが、全学校の的確な対応により衰微の方向にあります。学校現場におかれましては今回の経験を今後に活かして欲しいと思います。

本誌中の教育行政及び教育環境の実態調査から、子どもをとりまく生活環境の変化や行政の枠組みの大きな変化の中で学校をとりまく諸条件も変わりつつあることが読み取れますが教育行政に当る者として、教育予算の確保・学校の施設整備面や危機管理対策施設などの充実が絶対必要条件であり、その確保に全力を注いでいきたいと思っております。

子どもの生活実態に関する事項について、毎年度の結果を比較してみるとその傾向から、地域の子どもの家庭での生活の様子を知ることができ、今後の学校、地域、家庭との連携に役立つものと思っております。また、教職員の健康状況と労働の多忙感に関する調査結果について、多忙感から解消されたら充実させたいことは何かとの問いに、「教材研究」「子どもとの関わり」など本務を充実させたいとの回答が大多数であり、勤務状態の緩和や環境の整備に最大限努力しなければならないと再考させられるものがあります。

やまなしの教育振興プランの基本目標に「個性を生かし、生きる力をはぐくむやまなし人づくり」がありますが、ふるさとを愛し世界に通じる人づくりに向けて、基礎基本を確実に身につけさせ、いかに社会が変化しようとする課題を見つけ出し、自らの判断で、より良く課題を解決する事ができる児童生徒の育成に力を尽くしたいものです。私の好きな日本百名山を極めた深田久弥さんの言葉に「百の頂に百の喜びあり」という言葉がありますが、何事においても自分自身の体験の中から学び掴んだものは一生の財産になると思っております。

本誌に於ける各々の学校研究、教育協議会研究、学校経営研究・学校運営研究、各種研修報告記及び教育環境研究報告など東山梨教育全般にわたっての研究成果を、今後の教育振興のための資料として十分活用されることを期待しています。

最後に歴史ある東山梨教育協議会の発展と諸先生方のご活躍を祈念申し上げあいさつと致します。